



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1089 2017年9月11日

ARIBからのお知らせ

平成 29 年度「受信環境クリーン月間」の実施について

今日、テレビ放送やラジオ放送は、誰もが様々な情報を手軽に得るために、また、生活に潤いをもたらすものとして、日常生活に必要なメディアとなっています。一方で、テレビ放送受信用ブースター、パソコンなど電気・電子機器からの雑音、無線局からの混信、建造物による放送電波のしゃへい・反射などを原因とする放送の受信障害が発生しています。

こうした受信障害の防止を図ることを目的として、昭和 29 (1954)年、郵政省(当時)等の関係省庁、関係業界団体などの協力によって受信障害対策中央協議会が設立され、現在、受信環境クリーン中央協議会がこの活動を継承しています。

当協議会では、毎年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を受信環境クリーン月間として設定し、各地方協議会等と協力して、全国各地で放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。

この月間中は、建造物、無線局、電気雑音、ブースター等の各種原因による受信障害の対策につき、関係団体などの協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の設置、調査・パトロールを実施するとともに、NHK、民放各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、業界紙などへの記事掲載、ポスターの掲示、リーフレットの配布など幅広い周知・広報活動を行っています。

今年度は、受信環境クリーン中央協議会の新たな取り組みとして、一般の方々に対する受信障害に係る広報活動の強化を図ることとしています。

具体的には、JR 東京駅や東京メトロの複数の地下鉄駅において、デジタルサイネージやポスターによる広報活動を実施します。また、総務省・文部科学省・NHK・(一社)日本民間放送連盟の後援の下に、毎年全国の中学生を対象に実施している「受信環境クリーン図案コンクール」の総務大臣賞等の入選作品の展示を、東京都庁(45 階南展望室)及び郵政博物館(スカイツリータウン・ソラマチ 9 階)において実施します。(行事の詳細については受信環境クリーン協議会のホームページ(URL: <http://www.clean-kyou.com/>)をご覧ください。)

放送電波の受信障害は、時代とともに多様化・複雑化してきています。また、電気機器などの不適切な取扱い、例えばテレビ放送受信用ブースターの感度(利得調整)の上げすぎや配線不良などが原因で広い地域に受信障害を発生させることもあります。その防止・解消には、多くの方々の日頃からの注意・取組が必要です。

「受信環境クリーン月間」を機に、電波障害の防止になお一層の御理解と御協力をお願いします。

(連絡先)受信環境クリーン中央協議会事務局

03-3940-3981

(一般財団法人情報通信振興会内)

日中韓情報通信標準化会議 第 50 回 IMT WG 会合の概要

日中韓情報通信標準化会議 (CJK) 第 50 回 IMT WG 会合が開催されました。

1 日 程 :

2017年9月4日(月)~5日(火)

2 場 所 :

中国・蘇州
(Holiday Inn Suzhou Jasmine)

3 出席者 :

各標準化機関のメンバーとして、
ARIB から 5 名、CCSA (中国) から 10
名、TTA (韓国) から 7 名が参加しまし
た。



4 会合の目的 :

CJK IMT WG 会合は、日中韓 3 ヶ国の標準化機関 (SDO: Standards Development Organization) の ITU-R、APT 及び 3GPPs 等における IMT の国際標準化に対する取り組み等に関する情報・意見交換を行うことを目的としています。

5 主要結果 :

- ・ 5 月に開催された第 2 回 ITU-R SG5 Task Group 5/1(TG 5/1) 会合、6 月に開催された第 2 回 ASIA-PACIFIC TELECOMMUNITY Conference Preparatory Group for WRC-19 (APG-19) 会合、および第 27 回 ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合の結果、各 SDO の活動報告、3GPP の議論状況報告に関して確認を行いました。
- ・ 各国の ITU-R への IMT-2020 技術提案予定、外部評価グループの活動状況に関して情報共有を行いました。
- ・ 9 月 19 日から開催予定の第 3 回 TG 5/1 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行いました。
- ・ 10 月 3 日から開催予定の第 28 回 WP 5D 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行うとともに、2 つの Special Interest Group (SIG-Spectrum, SIG-Evaluation) の活動状況を踏まえ、各 SDO の提案内容の共通部分を基に共同寄与文書化について検討を行い、1 件の寄与文書について日本・中国・韓国の共同寄与文書化の調整を進めることになりました。
- ・ SIG-Requirement については、課題の検討が終了したためクローズし、今後検討すべき課題が出てきた場合は、新たな SIG を設置することになりました。

6 次回会合のスケジュール :

次回は、2017年12月12日~13日に日本(沖縄)で開催される予定です。

今週の ARIB 内会合(9月11日～9月15日)

9月13日(水) スタジオ設備開発部会 HDR番組制作運用 AdHoc
9月13日(水) 第242回業務委員会

今週の国際会合(9月11日～9月15日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

第5世代移動通信システムに関するワークショップ開催のお知らせ

CEATEC JAPAN 2017(開催期間：平成29年10月3日(火)～6日(金))において、第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2017が、次のとおり開催されますのでお知らせします。

- 1 **ワークショップ名**：セッション番号 ICT-3
第5世代移動通信システム(5G)ワークショップ2017
(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2017)
- 2 **ワークショップ概要**
2020年以降の実現に向けて検討が進められている第5世代移動通信システム(5G)に関する第4回ワークショップを開催します。今回は、5Gの利活用による新たな市場創出を目指し総務省が実施する実証試験等に関して、実施企業の皆様からプロジェクトの目標や試験環境等について実施概要をご講演いただきます。
また、パネルディスカッションでは、学識経験者と利活用産業及び国際連携の分野からの皆様が加わり、実証試験における課題や期待、今後の展望等について、熱い意見交換が行われる予定であり、ご期待ください。
- 3 **主催** 総務省
共催 第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)
- 4 **開催日時**
平成29年10月4日(水) 14:00-17:15 13:45入場開始予定
- 5 **開催場所**
幕張メッセ 国際会議場2階 「コンベンションホールB」
〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1
- 6 **定員** 約500名(シアター形式)

7 聴講料 無料

8 参加申込方法

次の CEATEC サイトから、参加申込みをお願いします。

事前登録及びセッション参加登録が必要となります。

https://regist.ceatec.com/?act=Form&event_id=1

早期に定員オーバーとなる可能性がありますので、参加を希望する場合は早めの参加申込みをお願いします。

9 ワークショップに関するホームページでの案内

ARIB ホームページ内に、本ワークショップに関する最新プログラム等を今後掲載しますので、ぜひご覧ください。

10 暫定プログラム

本ワークショップの暫定プログラムは次のとおりとなります。英日同時通訳が行われます。

時 間	項 目	講演内容/講演者
14:00-14:05	開会挨拶	総務省
14:05-14:15	基調講演	吉田 進氏(5GMF 会長/京都大学 特任教授・名誉教授)
14:15-14:30	セッション1:「2020年の5G実現に向けた取組」	
	講演①	中里 学氏(総務省 新世代移動通信システム推進室長)
14:30-15:00	セッション2:「5G 実証試験推進グループの活動状況-日韓連携へ向けた取組-」	
	講演②	奥村 幸彦氏(5GMF 総合実証試験推進グループリーダー/NTT ドコモ)
	講演③	Prof. H.W. LEE(韓国 5G Forum)
15:00-15:45	セッション3:「5G 実証試験プロジェクトの実施概要」	
	講演④	奥村 幸彦氏(NTT ドコモ)
	講演⑤	松永 彰氏(KDDI)
	講演⑥	吉野 仁氏(ソフトバンク)
15:45-1600	休憩	
16:00-17:15	パネルディスカッション: 「5G サービスの実現に向けた実証試験の最新動向と今後の展望(案)」	
	モデレータ	三瓶 政一氏(5GMF 技術委員長/大阪大学)
	パネリスト	古屋弘氏(大林組)、Prof. H.W. LEE(韓国 5G Forum)、 松永彰氏(KDDI)、中村武宏氏(NTT ドコモ)、 島田啓一郎氏(ソニー)、吉野仁氏(ソフトバンク)

11 問合せ先

本ワークショップ記事に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

ARIB 研究開発本部 移动通信グループ

近田守也、池田健 TEL: 03-5510-8594 workshop-5g@arib.or.jp



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp